



5歳児のお子様について、ご心配なことはございませんか？

5歳になるころのお子様のご様子を説明します。

5歳頃には社会性が育ち、集団行動が出来る、ルールを理解し、大人の指示に従うことが出来るようになります。このため、じゃんけんや勝ち負けが分かるようになり、子ども同士でルールのある遊びが出来るようになります。ただ、集団行動が苦手な子どもさんも多いです。お一人お一人に適したペースでお子様の社会性を育む事が大切です。

協調運動や細かい運動能力が向上しますので、片足立ちやケンケン、てんぐり返りなどが出来るようになってきます。また左と右の区別が出来る、青と緑の区別が出来るなど知能の発達もみられます。

落ち着きがない? : 活発で好奇心旺盛な男の子ではじじいが多いです。ただ順番が待てず、思わずお友達を怪我させてしまう、スーパーに行ってもすぐに迷子になる、道路に飛び出して、事故に遭いそうになったなど、落ち着きがないために日常生活で支障がみられるようであればご相談下さい。

発音が気になる : カ行、サ行をうまく発音できない子どもは多いです。「さかな」→「タカナ」、「おいしい」→「オイチイ」ほとんどの場合は5~6歳頃までには自然と良くなってきます。ハーモニカや笛を吹く、シャボン玉遊びをするなど、口を使って遊ぶ時間を増やしてみましょ。症状が続く場合は言語訓練が必要になる場合がありますので、ご相談下さい。

夜尿 : 5歳児の10%程度は夜尿がみられます。焦らず経過をみましょう。ご心配な方は専門機関を紹介いたします。